

8・9月の主な日程
 8月16日まで、夏季休業のため事務所が閉まります
 23日(日) 分会新聞学習会
 30日(日) 秋の拡大活動者会議・出陣式
 ※駅宣下 21・24日
 9月
 2日(水) 書記局会議
 ※事務所が閉まります
 4日(金) 常任執行委員会
 6日(日) 子どもまつり
 7日(月) 執行委員会
 13日(日) ワークスクール



発行所
 東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
 東京都武蔵野市八幡町3-7-10
 電話 0422(55)3200
 Fax 0422(55)9718
 発行責任者 升川 明

いま戦争法案を止めるとき



7月16日正午、国会前に衆議院での強行採決をゆるさないと多くの国民が集まった

「戦争法案の強行採決は許さないぞ」と、7月16日の午前、国会前には数万人の国民が集まり、『いまこの法案を阻止しなければ大変なことになる』と、反対の声を上げていました。残念ながら、正午には衆議院本会議で強行採決された「安保安法」。

しかし、衆議院を通過後、参議院での採決が「60日ルール」衆議院で再度の強行採決を阻止しようと、連日国会前には昼夜、多くの国民が集まり、廃案に向けて声を上げています。マスコミでも連日「安保安法(戦争法案)」について報道がされ、世論調査でも8割以上が反対するなか、いままでの労組の運動を大きく超えて急速に広がっています。



大規模な反対運動で国会前の歩道も規制

ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏らが呼びかけ人となった「安全保障関連法案に反対する学者の会」は、7月末には12500人を超え、自由で民主的な日本を守るための、学生による緊急アクション「シールズ」はフェイスブックで24500人の賛同、さらに、赤川次郎氏や大江健三郎氏などが呼びかけ人となっている「戦争をさせない1000人委員会」が立ち上がるなど、多くの著名人や学者が「戦争法案」反対の立場を表明。三鷹武蔵野には馴染みも深い、ジブリの宮崎駿氏は、「安倍首相は、憲法の解釈を変えた偉大な男として歴史に残りたい」と思っているはずだが、愚劣なことだ」と批判。



若者たちが先頭に立って戦争法案反対を訴える

ご存知の通り、安倍首相がアメリカの議会で「夏までに、成立させる」と公言し、そして自らの政治信念で「戦争する国づくり」をめざしたものです。しかし、

夏といえば平和特集

「安保安法」については、政府の公聴会で、自民党が推薦する憲法学者も「違憲」と発言。さらに、安倍首相は、他国が意思表示していなくとも「先制攻撃」ができる発言をしています。いま、国民の反対の声を代弁するのが与野党の政治家ではなく、若い学生たちや親子、学者・著名人。連日連夜、国会・首相官邸前に

は、今まで参加したことがないような、個人が多数参加しています。未来を担う子どもたちを戦場に送らないために、今こそ行動するとき、後悔しないよう、それぞれができることで、戦争法案を廃案にしましょう。

次は家族で参加したい

7月28日の夜、国会前行動で、牟礼分會・島村新さん(タイル)に聞きました。昼間の集会やデモには、なかなか参加出来ませんが、夜間の開催なので仕事帰りに参加しました。若い人たちが多く関心の高さを感しました。私にも子どもがいるので、充分な議論も無く、国会の会期末を気にしての強行採決など安倍政権のやり方には反対です。なにより私たちが経験してきた平和な時代を子どもたちに残

していきたい。娘もデモに行きたいというので、今度家族で参加したいです。歴史に戦争法残さない「私が子ども3人、それも男の子3人を産んで育てているのは、戦争で殺されるためでも、人を殺すためでもありません」と、話されたのは、吉祥寺分會・田中洸司さん(ハウスクリーニング)の奥さん・理恵さん。おじいさんと一緒に住んでいたとき、耳にタコができてくると、「戦争はやってはいけないこと」と言っていました。が、いまの政治を見てみると、本当にその危険を感じます。たとえば、子どもたちに対して、林間体験と称して集められ、それが自衛隊の予備訓練なんでも、安保安法が通ったら有りえませぬ。

署名でも何でもできることをして、子どもたちの世代のために、安保安法という汚名を歴史に残したくないです。届くことで、担当部署で大きく受け止められます。私たちの健康保険を守る大切な運動として、秋まで継続的な協力をお願いします。

土建国保を守る 予算要求夏の陣

【社保対部発】来年度の東京土建国保の補助金確保、そして建設労働者のいのちと暮らしを守るための予算要求集会を7月8日に開催。午前は、東京都に交渉と、新宿中央公園で集会。午後は日比谷野外音楽堂で国に対しての集会を行い、全国の49県連・組合から全体で4833人(東京都



暑いなか日比谷での集会

暑いなか日比谷での集会。彼らの志は、私たち先輩たちが誓った組合理念「戦争のための建設は2度としない」とつながっている。組合として、いや一市民として今やらねばならないことは、おのずとわかるはずである。 W・Y

雑記 林

隣の家が火事だったとか、どろぼうに侵入されたらとかの比喩に對して、消防や警察が対応することだろうと、反論しないメディアに對し、がっかりするのは私だけだろうか。いわゆる「戸締まり論」的に集団的自衛権を語るの、いかがなものか。私たちの日常生活と殺し殺される戦場を比較しても、全く無意味なものだ。外交問題はそんな単純なものではない。このような状況が起きるたび、井上ひさしさんなら、小田実さんなら、どのように語るだろうかと思う。そのような人の1人でもある反戦平和活動を積極的にすすめた鶴見俊輔さんが亡くなった。93歳だった。「殺すな」というメッセージを発信し続けた「ベトナムに平和を!市民連合」を1965年、小田さんと結成。市民が大きな声を上げた「ベ平連」の中心にいた。2004年には井上さんと「9条の会」の呼びかけ人となる。自らの従軍体験から何をくみとるかの行動は、戦後この国は、何もくみとらないことへの異議申し立てへの運動の連続だった。人間として最も単純だが重要な「殺すな」「殺されるな」の彼の志は、私たち先輩たちが誓った組合理念「戦争のための建設は2度としない」とつながっている。組合として、いや一市民として今やらねばならないことは、おのずとわかるはずである。 W・Y

橋本昇さん 戦争体験を語る

いま当時と同じ危険を感じる

いまの安保法案の国会状況や、国立大学に対して、

戦争は小学校2年の時

私が戦争を体験したのは、小学校2年生の時。その年の12月に大東亜戦争(太平洋戦争)がはじまりました。その時に出身地である福島県郡山市にいました。



戦争体験を話し、今の戦争法案は廃案にと話す橋本さん

戦争体験は約2年後の小学校6年生の4月です。大きな空襲が郡山でもありました。それは、軍需工場が郡山にもあったために、空襲にあったのです。空襲にあった4月12日は、私は松の木を掘り出し、砕いて油を取り出し、飛行機の燃料をつくる作業をさせられていました。その松の木の根を掘り起こす作業をはじめ10分たらずの時、2キロほど離れた工場をめぐってB29が10機編隊で飛行してきました。最初の編隊は爆弾を投下せずに通過。次の編隊から11回も繰り返して空襲がされました。

戦争は子ども心に、また、つらいこと思い出すのは、この空襲の後、工場から帰ってこなかった家族がいた世帯には、工場に来るように連絡がありました。

近所の女の子の家族から、一緒に工場に来てほしいと頼まれて、工場に行きました。女の子のお父さんは、空襲で亡くなっており、金網の上に寝かされていました。女の子の母親は、亡くなったお父さんの顔についている泥を拭おうとした際に、憲兵がムチでその手を叩いたのです。何があっても手を触れるなどいうことでしたが、子どもながらに亡くなった家族にそこまでするのかと思ったものです。

3日間しか一緒にいなかった旦那が戦地に行ったのですが、入っていた部隊が全滅したということで、白いお骨箱が家に届きました。しかし、突然元気に帰ってきて、姉や家族で喜んだものです。旦那さんは、幸いにして全滅した時には別の任務についていて、生きていたのです。

危険を感じる動き
いまの安保法案は戦争法

いま、本当に世論の8割が反対している戦争法案を廃案にするために、個人だけでなく、組合としてもがんばる時だと思えます。

核兵器廃絶の願いよとどげ

原水爆禁止国民平和行進

梅雨が明け連日猛暑が続く7月21日、「原水爆禁止国民平和行進」を西東京から引き継ぎました。そのな

間に広がっています。「戦争法案今すぐ廃案!」「なくそう核兵器!」「憲法を守れ!」行進する人たちのコールも、沿道からの声援も力強く大きかったことが印象的でした。

この日は西東京から武蔵野へ、武蔵野から三鷹へと引き継ぎ、22日に行進する杉並に引き継ぎました。



平和への願いを込めて行進する仲間



通しで行進している竹田さん

被爆70年の今年、おりしも「戦争法案」が衆議院で強行採決され、再びあの時代に戻るのはないかという危機感が多くの国民の

核兵器をなくす力には平和を願う人たちの声と行動です。8月の広島、長崎の原水爆禁止世界大会をめざし行進は続いています。

世界一危険な横田基地

本部主催 平和共同取材に参加して



訴訟団の清水事務局長

立川駅北口から「砂川事件」のあった砂川町から五日市街道を西向かうと横田基地に突き当たります。五日市街道は、戦

SVI22オスプレイの横田基地配備もあり、ますます危険な基地となります。今は、日本の自衛隊も基地を共用しています。

【升川明教宣部長記】米軍横田基地は、周囲の人口密度は、沖縄の普天間と変わりません。ここもまた、「世界一危険な飛行場」です。

立川駅北口から旧陸軍の飛行基地が航空士官学校などがあり、戦後も立川駅前ビル周辺は、米軍基地の入り口でした。

現在、国の研究機関・昭和記念公園などが立ち並ぶ地域ですが、なかには立川基地があり、ヘリコプターの飛行訓練などがされています。

80Wまでは、エアコンの設置、防音工事の援助がありますが、住民としては、1日中窓を閉め、カーテンをしての生活はできません。あらたに家族団らん時間の飛行差し止めと、航空機騒音環境基準70W地域への損害賠償を中心課題として取りくみ、横田基地周辺を静



昨年横田にきたオスプレイ

中島飛行機製作所の変電所が解体 貴重な戦争遺跡が消える



午後からの建物解体前の変電所(7月29日の午前撮影)

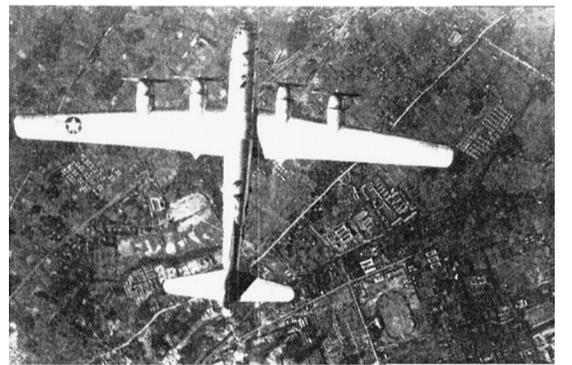
地域の遺跡を残しての声も届かず

武蔵野市にある戦争を振り返る遺跡が1つ消えてしまいました。戦闘機「零戦」のエンジンをつくった中島飛行機製作所(日本最大を誇る航空機生産企業)の建物で、唯一現存していた変電室が7月29日の午後、解体されたのです。

都立武蔵野中央公園は、1938年に開設された軍需工場・中島飛行機製作所があり、武蔵野製作所は海軍用の西工場、陸軍用の東工場、病院、その他の付属設備などがある大きな工場でした。変電室は、コンクリート造りの2階建てで、延床面積が160平方メートルあり、軍需工場だった製作所のほぼ中央にありながら、空爆を免れ、戦後、跡地に

都営武蔵野アパートが建設されると、管理事務所として使われたこともありましたが、今回の解体は、都立武蔵野中央公園の拡張工事に伴うもので、地域では、武蔵野の戦争遺跡を保存したいと、東京都に訴えていきましたが、解体に至ってしまいました。

折しも、戦争法案が大きく議論となっているとき



中島飛行機製作所を空爆するB29

に、貴重な戦争遺跡が消えてしまったことは、如何ともしがたい。

戦争法案の廃止とともに、福島で明らかになったコントロールできない原発の再稼働を許さない「脱原発」運動もすすめていきたいと思います。

平和のつどいで主婦の会が詩を朗読

【主婦の会・谷合節子記】7月12日(日)の午後2時より、三鷹原水協主催で「平和のつどい」が三鷹市公会堂さんさん館で開催されました。1部は、「戦後70年を迎えて」と題して、日本原水協の川田忠明さんがお話をされました。世界の核兵器禁止に向かっているのに、自国の「安全」のために核兵器が必要と、アメリカ・ロシア両国の核政策の説明がされました。国際政治を動かした5年間の運動・署名活動は、「核兵器のない世界をつくる」という大きな役割をもっているそうです。



署名への評価では、核保有国が追い込まれているが、世界大会では文章採択されず閉幕。軍縮は政府だけの仕事ではなく、多くの人々が声をあげれば、政治指導者も耳を傾ける草の根の運動が大切だと結びました。国連・NPT報告を、医療生協理事・任海千衛(とうみちえ)さんが話し、核兵器廃絶の被爆国の声を届けるために、1000人ほどの代表団としてニューヨークへ出かけ、着いた翌日、セントラルパークで署名行動。アメリカでは日本への原爆投下は正し

脱原発運動と復興支援 核政策の真実を

8月10日に、川内原発1号機(鹿児島県)の原子炉を再稼働させ、再稼働後の数日を送電を検討。9月には通常運転をしようとしています。1号機では、原子炉への核燃料の搬入もこの8月をはじめから行わ



ワクワクと元気もった 小林教授 戦争法案を語る



【千葉陸職員記】この時期にどうしても聞いておかなければならないと、小金井国分寺支部9条の会が主催する学習会「憲法の危機」を聞きに行きました。講師は改憲派であり、今いちばん注目されている、慶応大学名誉教授の小林節さんです。難しいことを漫談調にして話ができる特技を親から授かったと、その言葉通りに聞きやすく笑いに溢れた内容でした。

戦争法案の廃止とともに、福島で明らかになったコントロールできない原発の再稼働を許さない「脱原発」運動もすすめていきたいと思います。支部では、10月4日に東日本大震災の復興ボランティアを行います。今後、参加者を各分会で募って行きますので、ぜひ参加したいとお考えの方は、分会役員まで連絡を。

事務所の職員を紹介 千葉 睦

平和の想いで自己紹介



「はい、東京土建三鷹武蔵野支部です。本日は書記局会議のため一日事務所を閉めています。御用の方は明日おかけ直してください」留守番電話の声は私です。ガチャッと切られると何でか傷つきます。7月15日、「戦争法案」が衆議院で強行採決された場面をテレビで見ました。悔しくて、悔しくて、居ても立ってもいられず、国会前に行きま

「強行採決絶対反対!」「安倍はやめろ!」「民主主義って何だ!」と叫んでいるうちに不思議と力が湧いてきました。周りを見渡せば普通の人々が立ち上がっている。おかしいと思うことを声に出して怒っている。「戦争反対!」ということに当たり前のこと。決して偏ってはいない。私たちにできることは路

見えていなかったのですが「これは何かおかしいぞ」という空気が広がった。多分参議院も強行採決するでしょう、でも落胆はしていない。そのあとは1000人の弁護団を結成して損害賠償請求の用意もしている。それでもケリがつくとは思っていない。来年の総選挙では自公に学んで、5つの野党が連立して比例を戦う。4割の得票で8割の議席をとる。各政党の言いはあるだろうけど、「安倍ちゃんよりはましでしょ」と小林教授。そして廃止法案を通す。憲法を使って独立戦争を戦い、それが成功したら本場の意味で憲法が根付く。勇気と元気とやる気をもろうことができました。上に出る、頭数になる、可視化させる。そして世論を盛り上げ国会の中に影響を与える。この夏が正念場です。#国会前に集まろう! きゅうりは「96%」の「水」でできています。人体は「60%」の「水」でできています。内閣閣僚は「84・2%」の「日本会議」でできています。内閣閣僚は「94・7%」の「神道議連」でできています。内閣閣僚は「84・2%」の「靖国議連」でできています。政治家が軍備拡張に走る動機とは、一種の熱狂、意味のない誇り、好戦的な愛国心、それがすべて。(幸徳秋水) 自国民の保護ではないので

たまには話題の映画でも

この夏の話の映画を、ご家族で観に行きませんか。下記以外の映画も多数あります。ご注文は早めに(下記は一例)。

- ☆アイカツ!ミュージックアワード ☆at Home
- ☆クーキー ☆劇場版 弱虫ペダル ☆インサイド・ヘッド
- ☆バトルヒーロー ☆ロマンス ☆クーデター
- ☆アンフェア the end ☆ピクセル など他多数

◇イベントでは 機動戦士ガンダム展 THE ART OF GUNDAM など
※注文や問い合わせは、支部事務所0422-55-3200まで
※注：割引額は、前売券の販売価格から一律400円です。

後継者対策部 米づくり体験で草取りととうもろこし狩り

美味しいお米になあれ

【後継者対策部発】猛暑日となった8月2日(日)、茨城県にある後継者の米づく



おいしいお米になっての思いで草取りを

り体験の草取りに、親子30人が参加。1200〜1300センチにもなっていて、お米の花が咲いて



子どもたちも背丈ほどある稲をかき分けお手伝い

いた稲を見て「すげー大きくなってる」「穂が大きくなっ

「すごい生えている」「これを取れば美味しいお米が」などと、雑談しながらも暑いなか、作業を行いま



生のトウモロコシをガブリ

「すくい生えている」「こたい」「すごく甘い」など、生で食べられるトウモロコシに参加者はみんな驚きと感動していました。

お昼には、朝日里山学校の方がつくってくれたカレーライスでお腹を満たし、デザートにかき氷で体をなから冷やしました。

草取りを終え、次はトウモロコシ狩りで。私たちのために植えてくれた「無農薬」のトウモロコシは、「生」でも食べられる品種とあって、小さいものは、みんなで生で食べ、「ゆでであるみ

新会館建設ニュース

三鷹武蔵野支部の新会館建設は、先月の機関紙でお知らせした以降、工事の着工となりました。

8月3日の夕方に、建設現場へ、写真を撮りに行きました。

ちょうど工事も終わった所で、現場には現場監督がバリケードを閉じ、山留とやり方を出した

現場は、仮囲いをし、山留とやり方を出した

ところで、今後、根切りなど基礎工事がすす

められる予定で、8月末には基礎コン

ンまでの予定と、会館建設は、着々とすすんでいま



今月の求人情報

今月募集のある「求人」をご紹介します。

「募集職種」多能工(内装・給排水など)

「働き方」常用・社員

「募集人数」1人

「働き先」町工場

「条件」普通免許・不問

若くて向上心があり、できれば手先の器用な方

「事業所」岩崎建設(株)

西東京市南町1-12-1

「電話(携帯)」

042-467-0551

今月の主な講習会

◇足場の組立等作業主任者

【とぎ】①9月8・9日、②10月24・25日

◇有機溶剤作業主任者

【とぎ】10月6・7日

◇木造建築物の組立て等作業主任者

【とぎ】10月27・28日

◇地山の掘削及び土止め支保工作業主任者

【とぎ】11月11・13日

◇型枠支保工の組立て等作業主任者

【とぎ】11月19・20日

◇建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者

【とぎ】11月17・18日

今月の主な講習会をご案内します。受講場所・受講料など詳しくは支部までお問合せを。

◇石綿作業主任者

【とぎ】11月9・10日

◇職長・安全衛生責任者教育

【とぎ】①9月15・16日、②10月14・15日

◇足場作業主任者能力向上教育

【とぎ】9月13日

◇石綿特別教育

【とぎ】9月17日、午後1時〜

◇振動工具・刈払機

【とぎ】8月23日、午前9時〜

◇自由研削砥石

【とぎ】9月15日

◇丸のこ・熱中症セット特別教育

【とぎ】9月16日

◇カス溶接技能講習

【とぎ】9月26・27日

◇アーク溶接特別教育

【とぎ】10月2〜4日

◇玉掛技能講習

【とぎ】9月4〜6日

四小まつり 小さな大工さんがいっぱい参加



東京土建のブースでは、モザイクタイル65人、木工教室で本棚が

7月26日(日)、下連雀の四小まつりに参加。下連雀の仲間を中心に、組合員など29人が講師となって、木工教室・モザイクタイルを行いました。

当日は、最高気温を記録する日でしたが、会場となった四小には、多くの小学生や幼児が集まり、それぞれのブースで楽しんでいました。



工作を楽しむこどもたち

呑みにケーション大切に 下連雀分会

下連雀分会

【下連雀分会長・今出川晃一記】下連雀分会は、呑みにケーションを大切にしています。

日々集まり意見を交換すれば、考え方の違いも最小限になると思っています。

若い人ほど仕事や子育てで忙しいため、役を引き受けなくても押し付け、出来ることをやってもらい、出席できないときは、まわりの人がフォローする体制をとっています。

70・80才代は、押さえつけるような発言を控え、比較的頭の柔らかい50・60才代がアドバイスし、若手の活動者が参加しやすい環境が出来ると分会一同頑張っています。



みんなで呑んで話すが基本

また、最高気温のなかとあって、講師陣も、参加した親子も汗だくです。

そこで田村副委員長が現場の扇風機と発電機を急ぎ用意してくれるなど、暑

そのためにもやっぱり呑みにケーション